



はつらつ中学生！

ゴールデンウィークが終了し、鮮やかな新緑の中、生徒たちの活動もはつらつと活気に満ちてきています。

1年生も中学校に入学して1ヶ月が過ぎ、生活のリズムにも慣れ、日増しに中学生らしさを感じることが出来ます。授業や部活動に積極的に取り組んでおり、これからの活躍を楽しみにしているところです。2、3年生も1学期最大の行事、中体連（陸上大会・総合大会）を迎えることとなります。いい結果が報告できるよう頑張ってもらいたいと思います。

校内体育祭を開催！

6日（金）の午前中に校内体育祭を実施しました。



《校内体育祭結果》

	種目	1位	2位	3位
一学年	ボールまわし	1の6	1の8	1の3
	負けたらダメよ	1の8	1の4	1の5
	長縄（連続）	1の5	1の8	1の7
	長縄（総数）	1の7	1の5	1の4
	全員リレー	1の1	1の6	1の4
	バストリレー（男子）	1の7	1の1	1の5
	バストリレー（女子）	1の1	1の5	1の4
	総合	101,108	・・・	1の5
二学年	ボールまわし	2の7	2の6	2の3
	負けたらダメよ	2の5	2の6	2の7
	長縄（連続）	2の6	2の5	2の7
	長縄（総数）	2の6	2の5	2の4
	全員リレー	2の7	2の6	2の5
	バストリレー（男子）	2の5	2の1	2の7
	バストリレー（女子）	2の6	2の2	2の4
	総合	2の6	2の5	2の7
三学年	ボールまわし	3の2	3の5	3の4
	負けたらダメよ	3の8	3の7	3の5
	長縄（連続）	3の2	305, 306	・・・
	長縄（総数）	3の2	3の8	3の5
	全員リレー	3の8	3の5	3の1
	バストリレー（男子）	3の7	3の8	3の5
	バストリレー（女子）	3の3	3の1	3の6
	総合	3の5	3の8	3の2

連休の合間の行事となりましたが、絶好の運動日和の中、各種目を実施することができました。

8時40分から開会式を行い、クラス全員リレーから長縄とびまで日程通り進めることができました。各種目において、真剣に競技する姿や熱く応援する姿が見られ、学級の和や団結がより一層深まりました。特に3年生は、中学校最後の体育祭ということもあり、各クラスとも練習から一生懸命取り組み、長縄とび（連続）では、50回を超えるすばらしい記録を出したクラスもありました。

また、平日にもかかわらず、たくさんの保護者の皆様にお越しいただき、参観そして応援をいただき、心よりお礼申し上げます。誠にありがとうございました。

《二中学生の活躍》

- 岩瀬地区バスケットボール春季大会
男子 優勝
女子 2位
 - 県北中学生ソフトテニス研修大会
男子団体 5位
女子団体 優勝
 - 北関東ソフトテニス大会
男子団体 3位
 - 牡丹祭ソフトテニス大会
男子 2位 會田遥輝・吉田英斗
女子 優勝 佐藤未羽・橋本千奈
2位 鎌田実咲・鎌田美樹
3位 渡邊咲希・笠井愛麗
3位 柏原梨花・永沼さくら
 - 春季バレーボール大会 3位
 - 学年別卓球選手権県南大会
男子シングルス2年 3位 菱川 賢生
- ※この他にも多数の生徒が、5月22日の県大会に出場となります。



避難訓練を実施!

2日(月)の6校時に、不審者対応の避難訓練を行いました。須賀川警察署から3名の署員の皆様にお越しいただき、避難をする時の注意や護身術についての指導をいただきました。災害には、火災や地震などがありますが、いつ、何が起こっても冷静に行動できるように心に備えをしておきたいものです。

また署員の皆様から、無言で速やかに行動する二中生の姿を褒めていただきました。



支部陸上大会壮行会を実施!

10日(火)の6校時に、支部陸上大会の壮行会を実施しました。応援団によって壮行会が進められ、29種目に出場する52名の選手の紹介の後、各選手から大会に臨む決意表明がありました。

その後、全校生で選手に対して激励のエールを送りました。校歌、応援歌、須二中節、8拍子など、二中ならではの見応えのある応援を行いました。

選手の活躍に期待したいと思います。



岩瀬支部陸上競技大会が明日開催!

岩瀬支部陸上競技大会が下記により開催されます。お忙しい中とは存じますが、保護者の皆様もぜひ応援をお願いいたします。

1 日時 平成28年5月12日(木)
競技開始 9:20~
雨天決行

2 場所 鏡石町鳥見山陸上競技場

3 その他

○ 保護者の皆様は、鳥見山体育館西側駐車場をご利用ください。

※県大会への出場は、各種目1位の選手となります。

授業参観・総会・学年保護者会にご出席ありがとうございました!



4月28日(木)の午後に行われた第1回授業参観、PTA・体文総会、学年保護者会にご出席いただき、誠にありがとうございました。

今年度の父母と教師の会、体育文化後援会の役員の皆様が決定したのでお知らせします。

《父母と教師の会》		《体育文化後援会》	
○会長	吉田伸司さん	○会長	志波謙一さん
○副会長	水野寛幸さん	○副会長	関根 彰さん
	矢部健一さん		笛木明子さん
	宗像 勉さん		柏原恭子さん
○庶務	柳沼さとりさん	○庶務	鈴木和夫さん
	小豆畑忠(兼)		阿部広行(兼)
○会計	柳沼真弓さん	○会計	渡部好三さん
	安部勇士(兼)		二瓶光里(兼)

こころの窓

勉強をする上で、疑問をもつことは大切なことです。知識欲が旺盛な人は、知識を獲得したいという欲望が強く、疑問に思ったことをそのままにしないことが多いようです。普段の生活の中で、当たり前と思われることにも「なぜ」と疑問をもつことがたくさんあります。毎日が勉強と思い、成長していきたいものです。

機関誌「PHP」から的一篇を紹介いたします。

なぜ

こどもの心は素直である。だからわからぬことがあればすぐに問う。「なぜ」と。こどもは一生懸命である。熱心である。だから与えられた答えを、自分でも懸命に考える。考えて納得がゆかなければ、どこまでも問い返す。「なぜ」と。

こどもの心には私心がない。とられがたい。いいものはいいし、悪いものは悪い。だから思わぬものごとの本質をつくことがしばしばある。こどもはこうして成長する。

“なぜ”と問うて、それを教えられて、その教えを素直に自分で考えて、さらに“なぜ”と問い返して、そして日一日と成長してゆくのである。

大人もまた同じである。日に新たであるためには、いつも“なぜ”と問わねばならぬ。そしてその答えを、自分でも考え、また他にも教えを求める。素直で私心なく、熱心で一生懸命ならば、“なぜ”と問うタネは随処にある。それを見失って、今日は昨日の如く、明日も今日の如く、十年一日の如き形式に墮した時、その人の進歩はとまる。社会の進歩もとまる。

繁栄は“なぜ”と問うところから生まれてくるのである。